



## 外国出張報告書

平成 27 年 3 月 6 日

1. 出張国名      タイ
2. 出張月      平成 27 年 2 月
3. 出張目的      東北タイにおける低適性土壌改良試験に係る現地測定：C

### 4. 成果の概要

コンケンにおいて 7 月から開始した、保水性の低い砂質土壌の苗畑に土壌改良資材（ベントナイト・炭）を添加してチーク苗を植栽する試験について、今回の出張では乾季の中頃の時期のチークの成長と光合成速度、水利用特性に関する測定を行った。その結果、施肥（化学肥料）を添加した処理区と無添加の処理区では、午後に光合成速度、気候コンダクタンス、水ポテンシャルが大きく低下した。また、水ポテンシャルは最大値を示す明け方にも低い値を示し、深刻な水ストレスを受けていた。一方、ベントナイトもしくは炭のみを添加した処理区は、明け方の水ポテンシャルは高い値を示し、光合成速度は午後により低下しなかった。土壌の表層の水分は極めて低かったが、これらの処理区のチークは夜間に水を吸収して回復でき、その結果水ストレスを受けていなかったと考えられる。